



眉山のふもとで
毎日のくらしと
名もないドラマが
歴史を作る



私たちはこれからの未来に
どんなドラマを残すのだろうか

私たちは今、

歴史から続いた一筋の道の上

あしたという未来のふもと

ふもと研究会



研究員のふもと巡り 春のざわめき



今年はまだまだ肌寒い日が続いています。特に夜はぐっと冷えます。

でも、桜の季節がひと段落した眉山のふもとでは、さまざまなイベントが行われ始めました。

4月17日（土）～25（日）には『徳島LEDアートフェスティバル2010』が、4月23日（金）～25（日）には『はな・はる・フェスタ』が、そして25日（日）には『とくしまマラソン』が、ふもとを始め、徳島の町全体を満喫するように開催されました。

これらのイベントには多くの県民が様々な形で関わっています。徳島大学の学生もLEDアート作品を制作し出品を行っていました。

とくしまマラソンでは年々参加人数が増加しているとのこと。今年は最終的に7000人にまでエントリー枠を増やしたそうです。そして、これらのイベントを支えるボランティアの方たちの素晴らしさが際だっていたとの記事をあちらこちらで見かけて、ああ、イベントは成功したんだなあ、とひとりごちました。

LEDの光で幻想的に彩られたふもと。多くの人たちでにぎわうふもと。

ふと眉山を見上げると、春のいのちをその腕に抱いて、悠然と私たちを眺めているような。

春のざわめきが過ぎると、徳島は暑い夏に向けての準備が始まります。



新町川名物「ひょうたん島クルーズ」も順番待ち



パラソルショップでにぎわうボードウォーク



LEDに彩られた「ふれあい橋」

記事・情報募集! みなさんからの、眉山に関する記事や情報をお待ちしております！眉山にまつわる昔話、お勧めの登山道、季節折々の自然など、みなさんが日ごろ感じていることなども添えてお寄せ下さい。Webやふもと通信などでご紹介させていただきます。また、「ふもとなかま」も合わせて募集しています。情報収集や、イベントなどに一緒に参加してくださる方「ふもとなかま」に入りませんか？

発行・編集：『ふもと研究会』 徳島大学 常三島キャンパス 4号館 1F 学生支援室内
Tel/Fax : 088-656-7299 担当光永 Email : mitunaga@ias.tokushima-u.ac

この「ふもと通信」を
置かせてくれる場所、
配っていただける方を
募集しています！





わたしと麓 ふもと

vol. 05

山と人の関わりを考えてみたい。標高290メートルの眉山は、万葉の時代から、眉のように美しいと讃えられてきた名山である。春ともなれば桜が咲き誇り、周辺には神社仏閣も多く、また、眉山湧水群と呼ばれる銘水も豊富である。山頂からは遠く和歌山まで見渡せる眺望があり、今でも人々を引きつけ、生活に密着した山である。幸せな山ということか。



私の実家は山と海に囲まれた人口40人の寒村にある。今では、平均年齢が約80歳にもなってしまったが、50年前は皆若かった。実家の母も90歳になったが、当時は若く澁刺として猛烈に働いていた。働き場は300メートル級の山が幾重にも繋がる裏山であった。父は戦死していたので、祖父母を含め、家族5人の生計を、この山からの稼ぎで支えていた。当時は皆が貧乏であったので、野山を切り開き猛烈に働いていた。そんな人々が消えた昨今は、猛烈な勢いで自然が回復してきている。昔、野山を跋扈していた人々の騒々しさは消え、ただ、小鳥など、自然の騒々しさのみが聞こえてくる。騒々しい人々のいなくなった今を、訪れる人々の少なくなった今を、山は喜んでいるのだろうか。

平良全栄 (たいら ぜんえい)

学生支援室だより No5



ここ学生支援室では、いくつかの自主講座が開かれています。教員主催のものもあれば、学生さん主催のものもあり。先生方を講師としてお招きしているものもあれば、学生さんが講師となって進めているものもあり。また、教員と社会人の方が協力して開催したものもあり…その形は実に様々です。その中で、現在実施中のものに『恋のうた学習会』があります。第1回目は総合科学部の堤 和博先生をお招きし、万葉集を詠むにあたってのガイダンスをしていただきましたが、2回目以降は自らの手で進め、現在10回を重ねるまでになりました。毎回「万葉集、の恋のうた(限定!）」を主催者側で3句ずつ選び、それらについて意見交換を行っています。万葉の恋に思いを馳せつつ、自身の体験と重ね合わせて、自由に解釈していきます。お茶をいただきながら和やかな雰囲気が進められ、終始笑いが絶えません。この学習会が何より素晴らしいのは、参加者が本当に楽しみにされていること。そして、次も参加したい率100%であることです。

かつての恋の純粹さや奥ゆかしさに感動したり、いつの時代も変わらない恋心を知ったり、また、日本語の美しさを改めて感じたり…みなさまもぜひ一緒にいかがですか？

(文責：境 裕美)

HPがリニューアルしました！